

BREVET DE TECHNICIEN SUPÉRIEUR

SESSION 2009

ÉPREUVE DE LANGUE VIVANTE ÉTRANGÈRE

GROUPE 1

JAPONAIS

—
Durée : 2 heures
—

SPECIALITES	Coefficients
Assurance	1
Banque	1
Communication des entreprises	1
Management des unités commerciales	1,5
Professions immobilières	1

**Dictionnaire(s) bilingue(s) autorisé(s).
Calculatrice interdite.**

Dès que le sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.
Le sujet se compose de 3 pages, numérotées de 1/3 à 3/3.

TEXTE

クールビズ そしてウオームビズ

クールビズは英語のクール (cool) とビジネス (business) を一緒にしてできた言葉です。

クールビズは小池百合子環境大臣が音頭をとり、やはり世界に向け日本も省エネに本腰を入れている、とアピールしました。 クールビズの目標は、強すぎる冷房が健康と省エネに問題を起こすため、冷房を 28 度以下に下げないことです。

ノーネクタイ、ノー上着をイメージに、もっとカジュアルな格好をすすめるため小泉首相が初めて楽で軽い洋服を着てテレビに映りました。おしゃれをしたくてもきっかけがなかった中高年男性もこの提案に飛びつきました。日本のむし暑い夏に、首を絞めあげるネクタイや上着はたまらない、と本音では思っていたこともあります。

しかしクールビズの落とし穴は冷え性にかかったりだらしのないイメージを与えることがあるということです。またクールビズを着用する人もそれほど多くありませんでした。夏が終わった後、クールビズの成果は経済的にやく千億円の売り上げと昨年比べて七千万キロワット電力の節約と二万七千トンの温室効果ガスの排出量の減少をもたらしたことといわれています。

ウオームビズもその寒い期間の延長線上にありました。クールが「洋服を減らす」ならウオームは「洋服を加える」という意味になりました。やはり省エネが題目なので、暖房温度を低めの 20 度くらいに下げても寒いと感じさせない装いです。

その段階で伝統的な日本人サラリーマンのイメージがだんだん変わるかもしれません。

LEXIQUE :

省エネ : économies d'énergie

音頭をとる : promouvoir

本腰を入れる : sérieusement, pour de bon

着用 : mise, tenue

延長線上 : dans le prolongement de cette ligne

TRAVAIL À FAIRE

1) Compréhension (10 points)

Faire un compte-rendu du texte. (150 mots environ)

2) Expression en japonais (10 points)

a) Ecrire en chiffres arabes les quantités suivantes extraites du texte : (2 points)

千億円 :

七千万キロワット :

b) Répondre à la question suivante en japonais : (8points)

こういう「クールビズ」と「ウオームビズ」はフランスに導入されたとすれば、同じように省エネになると思いますか。 (250 caractères environ) 導入する adopter, introduire